

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年1月31日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 2540 URL <https://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 井川 明 (TEL) 03-3462-8138
 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2023年1月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)
(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,366	2.5	1,151	25.9	1,531	22.0	1,078	27.3
2022年3月期第3四半期	8,165	3.0	915	48.3	1,255	31.9	846	27.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	78.09	—
2022年3月期第3四半期	61.42	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	49,576	42,994	86.7
2022年3月期	48,614	42,179	86.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 42,994百万円 2022年3月期 42,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2023年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 10円00銭

配当予想の修正については、本日(2023年1月31日)公表いたしました「期末配当予想の修正(創立100周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,910	3.1	1,010	1.4	1,370	0.6	1,000	5.3	72.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期3Q	16,500,000株	2022年3月期	16,500,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	2,686,102株	2022年3月期	2,708,777株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	13,805,776株	2022年3月期3Q	13,783,207株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日まで)におけるわが国経済は、ウィズコロナへの移行が進む中、各種政策等により景気の持ち直しが期待されるものの、物価上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動の影響等から依然として厳しい状況が続いており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、経営理念「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」の下、事業ビジョン「すこやかでより良い時間を願う人々を応援する」に基づき、中期経営計画(2022年4月～2027年3月)において、「次の100年に向けた成長投資と持続的成長基盤の確立」を基本戦略と定め、「養命酒」及び酒類・食品の卸売販売を中心とする既存事業の収益力強化(深化)と、これまで取り組んできた「くらすわ」ブランドを中心とした新たな事業基盤の構築(探索)を同時に行う「両利きの経営」を推進し、収益性を確保しつつ成長投資を行い、新たな企業価値の創造に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の業績は、「養命酒」、「くらすわ」の各店舗の売上が前年を上回ったことにより、売上高は8,366百万円(前年同四半期比2.5%増)、営業利益は広告宣伝費の先送り等により1,151百万円(前年同四半期比25.9%増)、経常利益は1,531百万円(前年同四半期比22.0%増)、四半期純利益は1,078百万円(前年同四半期比27.3%増)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

第1四半期会計期間より新中期経営計画を策定したことに伴い、従来の「養命酒関連事業」の単一の報告セグメントから、「養命酒関連事業」、「くらすわ関連事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、新中期経営計画に基づく組織変更により、必要な財務情報を遡って作成することが実務上困難であるため、前年同四半期比情報は記載しておりません。

<養命酒関連事業>

養命酒関連事業の売上は、国内「養命酒」が前年を上回ったほか、酒類・食品では「クラフトジン」、「養命酒製造クロモジのど飴」に加えて「グミ×サプリ」が寄与、海外(海外「養命酒」を含む国外販売)では、マレーシア、シンガポールにおいて「養命酒」の売上が回復傾向にあり、売上高は7,619百万円となりました。

国内「養命酒」につきましては、最需要期である冬場に向けて、テレビCMや新聞等の広告を実施しました。営業活動については、卸店やドラッグストア等主要販売チャネルである小売店と協働した売り場作りによって継続的に露出を高めたことにより、売上高は6,294百万円となりました。

酒類・食品の売上高は656百万円、海外の売上高は378百万円、不動産賃貸・太陽光発電の売上高は290百万円となりました。

<くらすわ関連事業>

くらすわ関連事業の売上は、店舗では新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少していた来客数が回復しつつあります。通販では「五養粥」等のくらすわブランド商品が寄与したほか、季節商品等の提案を行いました。また、郵便局等を通じたカタログ販売の拡大に取り組み、売上高は746百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ962百万円増加し、49,576百万円となりました。これは主に有形固定資産が206百万円減少した一方で、売掛金が967百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価等により507百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ147百万円増加し、6,581百万円となりました。これは主に未払法人税等が103百万円、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が94百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ814百万円増加し、42,994百万円となりました。これは主に四半期純利益1,078百万円の計上及び配当金554百万円の支払により利益剰余金が523百万円、その他有価証券評価差額金が244百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,892,696	8,178,277
売掛金	2,425,162	3,392,305
商品及び製品	427,654	451,928
仕掛品	143,031	138,325
原材料及び貯蔵品	885,429	953,630
その他	109,448	175,082
流動資産合計	9,883,422	13,289,549
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,138,352	4,020,422
その他(純額)	3,816,486	3,727,503
有形固定資産合計	7,954,839	7,747,925
無形固定資産	142,082	131,078
投資その他の資産		
投資有価証券	21,445,377	22,260,238
長期預金	6,700,000	3,700,000
その他	2,496,760	2,455,811
貸倒引当金	△8,340	△8,340
投資その他の資産合計	30,633,798	28,407,710
固定資産合計	38,730,719	36,286,714
資産合計	48,614,142	49,576,264
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,282	183,152
未払法人税等	163,871	266,916
賞与引当金	248,411	109,719
その他	1,339,957	1,289,720
流動負債合計	1,874,521	1,849,509
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	4,511,657	4,683,996
固定負債合計	4,560,007	4,732,346
負債合計	6,434,529	6,581,855

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	724,666	724,666
利益剰余金	38,496,820	39,020,396
自己株式	△4,872,450	△4,826,091
株主資本合計	35,999,037	36,568,971
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,180,576	6,425,437
評価・換算差額等合計	6,180,576	6,425,437
純資産合計	42,179,613	42,994,408
負債純資産合計	48,614,142	49,576,264

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	8,165,393	8,366,532
売上原価	2,980,754	3,092,515
売上総利益	5,184,638	5,274,017
販売費及び一般管理費	4,269,612	4,122,254
営業利益	915,025	1,151,762
営業外収益		
受取利息	37,400	37,630
受取配当金	287,635	333,615
その他	27,556	22,610
営業外収益合計	352,592	393,856
営業外費用		
支払利息	11,580	13,382
その他	395	248
営業外費用合計	11,975	13,631
経常利益	1,255,642	1,531,987
特別利益		
固定資産売却益	—	10,926
投資有価証券売却益	133	—
特別利益合計	133	10,926
特別損失		
固定資産除却損	29,038	5,908
投資有価証券売却損	13,656	—
その他	303	—
特別損失合計	42,999	5,908
税引前四半期純利益	1,212,775	1,537,005
法人税、住民税及び事業税	307,000	469,000
法人税等調整額	59,221	△10,029
法人税等合計	366,221	458,970
四半期純利益	846,554	1,078,035

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理年数の変更)

退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数として15年で費用処理をしておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、第1四半期会計期間の期首から費用処理年数を12年に変更しております。この結果、従来 of 費用処理年数によった場合に比べ、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、43,100千円減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

当社は、「養命酒関連事業」の単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	養命酒 関連事業	くらすわ 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,407,244	746,904	8,154,149	—	8,154,149
その他の収益	212,383	—	212,383	—	212,383
外部顧客への売上高	7,619,628	746,904	8,366,532	—	8,366,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,619,628	746,904	8,366,532	—	8,366,532
セグメント利益又は損失(△)	2,377,949	△126,997	2,250,952	△1,099,189	1,151,762

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,099,189千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2023年に創立100周年を迎えるにあたり基本戦略を「次の100年に向けた成長投資と持続的成長基盤の確立」と定め、「養命酒」及び酒類・食品の卸売販売を中心とする既存事業の収益力強化(深化)と、これまで取り組んできた「くらすわ」ブランドを中心とした新たな事業基盤の構築(探索)を同時に行う「両利きの経営」を推進する中期経営計画(2022年4月～2027年3月)を策定しました。これに伴い、第1四半期会計期間において、報告セグメントを従来の「養命酒関連事業」の単一の報告セグメントから、「養命酒関連事業」、「くらすわ関連事業」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報を当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、新中期経営計画に基づく組織変更により、必要な財務情報を遡って作成することが実務上困難であるため、開示しておりません。

また、前第3四半期累計期間のセグメント情報は単一の報告セグメントであることから、前第3四半期累計期間の区分方法により作成した当第3四半期累計期間のセグメント情報の記載は省略しております。